

パーカッショニスト安江佐和子プロデュース

il S o l e /

イル・ソール

Y x S

C r o s s i n g

0 5

～杉山洋一 影響を受けた
作曲家とともに～

SAWAKO YASUE
安江佐和子



杉山洋一
YOICHI SUGIYAMA

《プログラム》
湯浅譲二 「相即相入II」 (Duo)
伊左治直 「diorama」 (安江佐和子 Solo)
石井眞木 「フォーティーンパーカッションズ」 (Duo)
八村義夫 「ドルチシマ・ミア・ヴィタ」 (吉原すみれ Solo)
杉山洋一 「委嘱新作」パーカッションDuoのための



SUMIRE YOSHIHARA
吉原すみれ

一般：4,500円 (当日券は+500円)
学生：3,000円



[チケットご予約]

web予約：<https://202504ilsole.peatix.com>

メール予約：prana.sawako@gmail.com

(お名前・公演日・枚数・電話番号をお知らせください)

電話予約・お問い合わせ：東京コンサーツ

03-3200-9755 (平日:10:00～18:00)

2025年
4月19日(土)

15:00開演 (14:30開場)

4月20日(日)

14:00開演 (13:30開場)

会場：トーキョーコンサーツ・ラボ
(東京都新宿区西早稲田 2-3-18)

il Sole (イル ソーレ) の『何に影響を受けて』というテーマの軸にふさわしいゲスト、吉原すみれさんをお招きすることが遂に叶います。

私も杉山さんも幼少のころからすみれさんの演奏と、またその多くの作品と作曲家から衝撃を受けながら人生の大事な時間を過ごしてきました。打楽器界に残された名曲、石井眞木、湯浅穰二、八村義夫、伊左治直、すべて吉原すみれさんの委嘱作品です(大変多くの作品から選ぶことは容易ではありませんでした)。多くの作品を委嘱され、現在に残されてきた偉業をこの「il Sole」を通してあらためてご紹介したく、同時に吉原すみれさんが打楽器と共にどのように生きてこられたか、作品を通してその歴史を垣間見られることをぜひ一緒に体験して頂きたいと思う渾身の企画です。

そして私自身と一緒にできることの喜びと当日までのプロセスに、またどれほどの影響を受けるであろうか、楽しみでなりません!(安江佐和子)

安江佐和子 Sawako Yasue

(ソロパーカッション、マリンバ、ティンパニ奏者)



桐朋学園大学卒業、研究科修了。ミュンヘン国際音楽コンクール審査員特別賞。'95よりサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとして活動。小澤征爾指揮、ヨーロッパ、アメリカツアーなど数多くのコンサートのティンパニ奏者として出演。'02文化庁芸術家海外研修員としてベルリンへ留学。ベルリンフィル

ライナー・ゼーガースに師事。'04~'07.東京フィルハーモニー交響楽団打楽器奏者。'11.4月より安江佐和子プロデュース「Prana」をスタート。自身のプロデュースとして構成、演出、パフォーマンス共に高い評価を受ける。現在、桐朋学園大学特任講師。オーケストラジャパン首席ティンパニ・打楽器。愛知室内オーケストラ首席客演ティンパニ・打楽器奏者。古典から現代までソロ、アンサンブル、オーケストラと活動は幅広く、プロデュース、レコーディングも多数手がける。リズムを超えた「音楽」を求め、歌う、色彩のパーカッションとして、独自の音色感をもった世界を展開する。

吉原すみれ Sumire Yoshihara (パーカッション)



東京生まれ。幼少の頃より、工藤昭二にマリンバのレッスンを受ける。高校入学時より、打楽器を小宅勇輔に師事。東京藝術大学に入学し、打楽器一般を有賀誠門、マリンバを高橋美智子に師事。1972年同大学院在学中にジュネーヴ国際コンクール打楽器部門で優勝、各部門のグランプリであるプリ・アメリカン賞も受ける。以後、ヨーロッパ、日本を中心にソロ活動を続ける。1977年ミュンヘン国際コンクールで1位なしの2位。1980年サントリー音楽賞受賞。アルバム「吉原すみれ・打楽器の世界1」において芸術祭優秀賞受賞。アンサンブル・ヴァン・ドリアン団員として1983年中島健蔵賞受賞。1991・97年ミュンヘン国際コンクール、1992年ジュネーヴ国際コンクール審査員。2002年第20回中島健蔵音楽賞優秀賞を受賞。2004年第13回朝日現代音楽賞受賞。アンサンブルタケミツ、メンバー。武蔵野音楽大学教授。相愛大学客員教授。

杉山洋一 Yoichi Sugiyama (作曲家)



1969年東京生まれ。作曲を三善晃、フランコ・ドナトーニ、サンドロ・ゴルリに、指揮をエミリオ・ポマリコ、岡部守弘に師事。作曲家としてミラノ・ムジカ、ヴェネツィア・ピエンナーレをはじめ、国内外より多くの委嘱を受ける。指揮者としてNHK交響楽団、東京都交響楽団、ヴェローナ野外劇場管弦楽団など日

欧で活躍している。オーガナイザー、プロデューサーとしての実績も豊富で、高橋悠治作品演奏会「歌垣」(2018)、同II「般若波羅蜜多」(2019)、同III「フォノジェヌ」(2021)、松平頼暁のオペラ《The Provocators ~挑発者たち》(2018)、フェニーチェ堺オープニングシリーズ「武満徹ミニフェスティバル」(2019)などに携わり、いずれも指揮も担当した。作曲家として、第13回佐治敬三賞、第2回一柳慧コンテンポラリー賞受賞。指揮者として2018年芸術選奨文部科学省大臣新人賞、2023年同大臣賞受賞。1995年よりミラノ在住。現在ミラノ市立クラウディオ・アバド音楽院で教鞭をとる。

《会場へのアクセス》



トーキョーコンサーツ・ラボ

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル1階

《交通のご案内》

東京メトロ東西線「早稲田駅」より徒歩6分

東京メトロ副都心線「西早稲田駅」より徒歩10分

JR山手線・西武新宿線高田馬場駅から都バス<学2>「西早稲田」より徒歩2分